

キャラクター名
犬飼淡兔 いぬかい たんと

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	物理学者
	キュマイラ					
オプション	ノイマン		年齢	26	性別	男
覚醒	忘却	衝動	殺戮	初期侵食率	35	%
出自	天涯孤独	経験	記憶喪失	邂逅	家族 (のような関係)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:物理学			情報:UGN UGNコア	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《ボルテックフィニッシュ》	白兵	16r+1	7	35		100%時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
応急キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
対抗種	P 執着	N 恐怖		
D市支部長	P 連帯感	N 嫌気		
神城早月	P 親近感	N 疎外感		
記憶の中の誰か	P 執着	N 恐怖		
世渡里 憧児	P 感服	N 劣等感		
胡椒 葉肆	P 親近感	N 劣等感		
この街	P 執着	N 嫌気		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
完全獣化	1	6	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果:	シーンの間【肉体】+Lv+2個。ただし素手以外のアイテム使用不可。							
MAXボルテージ	2	4	Xジャー	-	-		80	
効果:	攻撃力+10、ダイス-1							
フルパワーアタック	2	4	セットアップ	至近	自身	自動	80	
効果:	攻撃力を+Lv×5、行動値0							
バリアクラッカー	2	4	Xジャー	武器	-		80	
効果:	ガード装甲無視。1ナリLv回							
イオノクラフト	1	1	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果:	《飛行》移動距離を+[LV×2]m							
エクスマキナ	1	2	Xジャー					
効果:	達成値+10 1シナリオLv回							
破壊の爪	1	3	マイナ	至近	自身	自動	-	
効果:	素手を攻撃力+[Lv+8]、ガード値1							
コンバットシステム	2	3	Xジャー/リアクション	武器	-		-	
効果:	白兵のダイス+Lv+1							
コンセントレイト《ブラックドッグ》	2	2	Xジャー					
効果:	C値-[Lv]							
獣の直感	★							
効果:	自然の微細な変化を読み取る							
タッピング&オンエア	★							
効果:	電波ジャックハック							
セキュリティカット	★							
効果:	ロックを解除する							
暗号解読	★							
効果:	情報や暗号を解読する							

支部長のことをマスターと勝手に呼んでいる

「誰かの力になれたら、心の底からうれしくなって『くしゃ』っとなるんだよ。俺の顔。」

世紀の天才物理学者にして発明家、そしてレネゲイドウィルスの研究にも携わる(ていた?) 頭脳派ヒーロー

彼の出自は謎に包まれている部分が多い、確かに力を使うことができるようになったこと
どんな力を使えるかは理解しているが、なぜ使えるようになったのか。

薄っすらとある記憶は、何かを施されたような...苦しんでいるような...そしてそれを見下ろす人影...

自らが戦う力を持っていることを、むしろ好ましく思っているが。何故こんな力を使えるのか、自らについて日々模索していた。
誰かが何かの為にこの力を与えたのではないかと。

「思い出したよ。俺は、ナルシストで自意識過剰な、愛と正義のヒーローだってな」

LOVE&PEACEを掲げるヒーローを自称しており、正義感は一倍感強い。
困っている人や苦しんでいる人を放っておくことはできない性格。
自らを犠牲にすることも厭わない。

「凄いでしょ?最高でしょ??天才でしょ!??」

